

鎌 高 新 聞

発行 神奈川県立鎌倉高等学校 校長室

令和 3 年 5 月 13 日 第 2 号

変異株、若者にも忍び寄る！

神奈川県では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月20日より取られていた新型インフルエンザ等まん延防止等重点措置を5月31日まで延長することになりました。これを受けて県教育委員会として、まん延防止等重点等重点措置の実施期間中の感染状況、特に変異株の感染者が増加傾向にあることを踏まえ、生徒の安全・安心を確保するため、一層強化・徹底する感染防止対策を取る通知が発出されました。

現在、新型コロナウイルスの第4波が日本全国に猛威を振るっています。特に、感染力の強い変異株に置き換わっている状況です。5月6日、兵庫県では陽性者の検体を調べた結果、90.9%に変異ウイルスが確認されたと公表され、東京都でも62%が確認されたと公表されました。新型コロナウイルスは「生き残るため」に変化し続けていきます。一般的にウイルスは細胞に感染して自分をコピーして増殖していきます。しかしながら、完全同一の遺伝子をコピーするのではなく、無作為に少しずつ異なったものをコピーしていくのです。その結果、以前より弱いものや、強いものなど、特性を変化させて生存できるウイルスへと変化していくのです。ゆえにインフルエンザのワクチンは、その年に流行すると予測されるウイルス株に対応するワクチンが作られています。

昨年の12月上旬からイギリスのロンドン周辺で感染者が急増し、新型コロナウイルスが変異していることが判明しました。その後、イギリスのみならず南アフリカ、アメリカ、ブラジル、日本など世界各地で検出され、5日現在、世界保健機関(WHO)によれば世界で142の国・地域に広がっているとする報告書をまとめました。

変異ウイルスが強毒化して重症化しやすいという科学的なエビデンスはありませんが、従来のウイルスと比較して若者に対する感染力の強さと、重症化しやすいという傾向が見られています。現に、若者でも緊急治療室に運ばれて集中治療室に入り、患者によっては人工呼吸器を用いています。また、変異ウイルスの感染による入院患者は60歳未満の患者が増え、従来のウイルスであれば発熱しても1～2週間で回復していましたが、今回、療養期間が長くなり、重症化のリスクが高まっています。

変異株は、若者が重症化するだけでなく、後遺症も残ることが見受けられます。イギリスで感染の後遺症に悩む若い女性のドキュメンタリー番組を見たことがあります。やはり授業、講義や仕事に集中することができなくなったケースを放映していました。次に主な後遺症を示しておきます。

① 脱毛や毛が薄くなる

- ② 息切れが激しくなる
- ③ 目や口が乾燥しやすくなる
- ④ 浮腫みがとれない
- ⑤ 疲れやすい
- ⑥ 咳が続く
- ⑦ 関節が痛い
- ⑧ 味覚・嗅覚が戻らない
- ⑨ 記憶に意識障害がでる
- ⑩ 食欲が戻らない
- ⑪ 耳が聞こえにくくなる

後遺症として、このような症状がでると身体的、精神的にも苦痛が長く続くことになります。新型コロナウイルスは、風邪やインフルエンザと同じではありません。新型コロナウイルスでは、発熱や頭痛、倦怠感などの症状だけでなく、合併症が起こることがあり、重症化や死に至ることもあります。呼吸不全や不整脈、肺塞栓症や急性脳卒中などが報告されています。

増加傾向の変異ウイルスによって、今後の感染状況がどのように推移するのか分かりません。対策で一番大切なことは、感染しないことです。しかしながら、私たちはウイルスを目で見ることはできません。なるべく感染しないように行動することです。改めていいます。

- ① 毎日の健康観察 ② 三密はさける ③ マスクの適切な着用
- ④ 手洗い・消毒をする ⑤ 帰宅時に玄関先で服をはたく ⑥ 帰宅時にうがいを
する
- ⑦ 十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動 ⑧ 常時換気を基本とする
- ⑨ 室内において身体的な距離を取る ⑩ 不要不急の外出はしない

特に、学校での昼食時に、次のようなことに注意してください。

- 食事前の手洗い ○ 他の生徒と離れて食事すること
- 対面で食事をとらない ○ 食事中の会話はしない
- 食べ物、飲み物を共有しない ○ 食事後は速やかにマスクを着用

また、学校外についても、次のようなことに注意してください。

外食するときでも「黙食」、「個食」、「会話時のマスク着用」を守ってください。さらに、グループにおけるカラオケなどの大きな声を発する行動や、友人宅宿泊等による感染の報告がされています。学校外で感染リスクの高い行動は自粛し、不要不急の外出はしないこと。